



# 履修登録とシラバス



## 履修登録にはルールがある

### 1 履修の注意点

履修登録とは、学期（年度）の始めに、各学部で定められた方法にしたがって、履修したい科目を自分自身で選択し、申請することをいいます。ウェブで登録する方法が多いですが、所定の期間内にしなければならないので忘れないように注意しましょう。履修する科目には、卒業までに必ず修得しなければならない必修科目、自分自身で選ぶ選択必修科目、選択科目などがありますが、履修できる学年が決まっていたり、先修条件\*があったりと、履修条件が付いていることもありますので、ガイダンスなどでの説明やシラバスを活用して、履修を行うようにしましょう。

#### 先修条件

体系的な学修のための条件。例えば、上級学年のより専門的な配当科目を履修する場合に、その基礎的または教養的な科目を下級学年で履修しておくことで、当該科目の学修を効果的に深く行うことができる。

### 履修登録のポイント

1	科目の内容はシラバスで確認	受けたい授業の内容は、シラバスで確認する。
2	必修科目は履修年次に必ず履修する	授業科目は、教育活動の成果として保証する卒業の認定に関する方針（DP）を踏まえ、体系的に設けられおり、その核となる必修科目は、他の科目を学ぶ上でも何年次に履修すべきが決められている。
3	学びの目的・方向を自分自身で定め、バランスよく履修する	卒業要件では、学科別専門教育科目以外の教養教育科目（一般教育科目・総合教育科目、外国語科目、保健体育科目など）を履修する必要がある。また他学部の科目も履修することができる。これらは、専門分野以外の視点や気づきを得る有用な機会でもある。トータルに自分の学びをデザインし、バランス良く履修しよう。
4	科目数、曜日は無理なく	関心を広げ、積極的に履修することは良いことではあるが、授業ごとに課題や予習・復習が課されるので、欲張りは禁物。また、履修登録単位の上限数が学部・学科で定められていることがあるので確認しましょう。科目数や曜日・時限を適切に配分し、無理のない学修計画を立てることも重要。

## 2 シラバスの活用

シラバス (Syllabus) は、授業の概要を理解するためのもので、学生の皆さんの学修を成功に導く役割を果たすため、必ず目を通しましょう。

まず自分が受講したい授業科目名と教員名を確認することが第一歩。シラバスは学期ごとに書かれ、多くは1学期で15週の授業計画が示されています。授業のテーマ、目的・到達目標を見ると、何をどこまで学ぶのかがわかります。あなたが今すぐに履修できる科目かどうか、条件も確認しましょう。

また、実際に履修した時のことをイメージして、各回の予習・復習についての指示と、成績評価や評価基準（試験、レポート、授業参画度など重視されるものなど）も確認しましょう。

### ■ シラバス記載項目

#### 1. 科目の基本情報

- 授業科目名 ● 担当教員名
- 開講学科・コース (必要に応じて記載)
- 対象学年・履修条件 ● 期間 (前期・後期・通年)
- 単位数 ● 必修・選択の別
- 日本大学教育憲章との関係性
- ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーとの関係性

#### 2. 授業内容

- 授業の概要 ● 授業の目的・到達目標 ● 授業の方法
- 授業時間外の学修 (予習・復習など)
- 授業計画 (半期15週それぞれの内容)
- 成績評価の方法及び基準

#### 3. その他

- 教科書 ● 参考書 (参考ホームページも含む)
- 連絡先 (オフィスアワー, e-mailなど)
- 教員の実務経験
- その他 (履修上の注意, 受講生に対する要望, TA・SAの有無など)





# こうやって見るんだ!?

## シラバスの見方について詳しく知ろう!

各学部のホームページ内にある「シラバス」ページを探します（学部ごとに、シラバスが掲載されている画面や構造は異なります）。ここでは、シラバスの見方について説明していきます。

### ■ シラバス検索画面



- ① 知りたい科目群を絞る
- ② 具体的な検索ワードがわかっている場合は、入力してさらに絞る

### ■ 科目一覧画面

学号	科目名	科目コード	単位数	履修可能	履修状況	履修単位	履修学期	履修年次
12345678	基礎化学	123456	2	○	○	2	1	1
12345678	有機化学	123457	2	○	○	2	1	1
12345678	物理化学	123458	2	○	○	2	1	1
12345678	生物化学	123459	2	○	○	2	1	1
12345678	薬理学	123460	2	○	○	2	1	1

- ③ 知りたい科目をクリックして、詳細画面へ

## ❖ 履修トラブルに注意!

### 登録ミスについて

希望科目の履修登録を失敗してしまうと、授業に全て出席して試験を受けたとしても、単位を修得できなくなります。

**【履修登録に失敗してしまったら?】** 所定の履修登録期間の他に、履修登録内容確認期間を設けるなどしますので、そこで再度確認して、場合によっては再登録しましょう。

**【やむを得ない理由で登録できなかったら?】** 所定の期間に履修登録ができなかったり、確認できなかったりする場合は、早めに教務課に相談しましょう。

**【登録単位数の上限】** 学期中(年度内)に修得できる受講単位数の上限を設けている場合があります(CAP制)。事前にルールを確認しておきましょう。

### 学年制

「学年制」とは、各学年での教育課程を修了し、進級・卒業する「学年進級制」を採用のことで、学年によって定められた科目の単位を修得し進級判定されなければ、進級できません。「学年進級制」は、卒業時に国家試験に合格・資格取得する必要のある医・歯・薬系の学部・学科が多く採用しており、日本大学では、医学部、歯学部、松戸歯学部、生物資源科学部(獣医学科)および薬学部が、この方式を採用しています。詳しくは、各学部の『履修要覧』などを参照してください。

## シラバス掲載情報の見方

科目区分: 全学共通教育科目  
 科目コード: 22RWC00M01  
 科目名: 自主創造の基礎(First-Year Seminar)  
 単位数: 2

開講年次: 1年次前期  
 履修方法: 選択  
 授業形式: 混合型  
 担当教員: ○○○○,○○○,○○○,○○○,○○○,○○○,○○○

<b>科目のキーワード</b>	初年度教育、日本大学、コミュニケーション、情報倫理、インクルージョン、ディスカッション、学際学際、論理的・批判的思考、プレゼンテーション
<b>科目概要</b>	<p>従来の科目を履修して入学した人に入塾し、学部・学科に関わり、本学の学生として共通して修得するべきスタディスキルを修得することをめざします。</p> <p><b>スタートアップ(第1週)</b>では、本科目の意義、意義や位置付けを概観した上で、「日本大学教育憲章」のあらましと本科目との関係性、「学部(学)学則」の意義を説明する機会をもち、1次試験として履修学生の学力や学習意欲を事前検定いたします。</p> <p>その後、第2回から第14週までは以下の3点をターゲットとして定め、それぞれの單元内容に達しなが体系的な学びを進めていきます。</p> <p>① <b>「TARGET 1」大企業と対するアドバンティ(第2週-第5週)</b>                  さまざまな業種が抱える課題、さらには履修学生が直面する課題・事例を例として、在学中の学びのイメージを捉くことをめざらします</p> <p>② <b>「TARGET 2」コミュニケーションとインクルージョン(第6週-第9週)</b>                  ICT技術を含む多様なコミュニケーションの在り方と特徴を理解した上で、他者を尊重しながら協力的にグループワークに取り組み姿勢を修得することをめざします</p> <p>③ <b>「TARGET 3」論理的・批判的思考とアウトプット(第10週-第14週)</b>                  論理的かつ批判的に考えをまとめるのがグループワークを行い、グループとして提示資料の作成や発表を行うことで、読解力をもつて他へ伝える力を修得することをめざらします</p> <p>最後に、本科目のまとめとして、<b>振り返り(第15週)</b>では、各TARGETの達成度を中心に復習を行い、あわせて後学課程に向けた課題の設定を行います。卒業生では、学生自身による自己評価も振り返りを行い、各履修時の到達度の確認を行います。その到達状況を当該授業内で集計し、本課のまとめとして受講者にフィードバックを行います。</p>
<b>一般目標 (GIO)</b>	<p>1. 学部・学科に関わり、本学の学生として共通して修得するべき学際学際や修得すべきスタディスキルを身に付ける</p> <p>2. 多様な存在を認め、それぞれの価値観を尊重しながら他者と関わり合うことで、自身の立ち位置を相対的に理解する</p> <p>3. 自己設定した課題について論理的かつ批判的に検討を行いながら、自身の考えを伝える力を身に付ける</p>
<b>個別行動目標 (SBOs)</b>	<p>本科目は、各TARGETで以下の学習目標を定めます。</p> <p><b>「TARGET 1」大企業と対するアドバンティ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本大学についてさまざまな角度から観察することで、本学で学ぶ意義や意義について、説明することができる</li> <li>履修学生が学ぶ特色を理解し、在学中の目標設定し、学びの意義を定めることができる</li> </ul> <p><b>「TARGET 2」コミュニケーションとインクルージョン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまなコミュニケーションの在り方や特徴を説明することができる</li> <li>自身の考えを適切に伝えることができる</li> <li>他者の価値観を尊重することができる</li> <li>多様な存在や価値観を受容し、尊重しながら、協働することができる</li> </ul> <p><b>「TARGET 3」論理的・批判的思考とアウトプット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループでは各メンバーで課題を設定することができる</li> <li>他者の意見を尊重しながら多角的かつ批判的に自身の考えを提示できることができる</li> <li>グループでの検討結果を論理的にまとめ、他者に説明することができる</li> </ul> <p>その達成率に応じて、自身の成長を振り返ることができる</p>
<b>日本大学教育憲章との関係性</b>	本科目は、「日本大学教育憲章(ブループリント)」に掲げる各領域(教育・教養)に基づき「知・情・徳」世界の現状を理解し、説明する力(1)「論理的・批判的思考力」(問題発見・解決力)「読解力」「コミュニケーション力」(リーダーシップ・協働力)「教養力」の初期修得: Basic 1を修得する(※は、選択する授業内容によって対応)
<b>ディプロマ・ポリシー (DP)との関係性</b>	本科目は、DP1、DP2、DP3、DP4、DP5、DP6、DP7、DP8に該当する科目です。(※は、選択する授業内容によって対応)
<b>カリキュラム・ポリシー (CP)との関係性</b>	本科目は、CP1、CP2、CP3、CP4、CP5、CP6、CP7、CP8に該当する科目です。(※は、選択する授業内容によって対応)

### 授業計画

週数 (授業形態)	授業計画
<b>第1週 (対面)</b>	<p><b>スタートアップ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆本科目の意味や意義、位置づけについて要点を伝えられることができる</li> <li>◆本学学生としての学びの在り方について理解し、説明することができる</li> </ul> <p><b>【事前学習: 2時間】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部要覧の履修方法や卒業要件に関するページを確認します</li> <li>・「3ライティング・Learning Guide」を熟読します</li> </ul> <p><b>【事後学習: 2時間】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生としての学びについて、理解を深めます</li> </ul>
<b>第2週 (対面)</b>	<p><b>「日本大学を知る」①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆本学の入学動機について振り返ることができる</li> <li>◆本学の歴史や特色を理解し、説明することができる</li> </ul> <p><b>【事前学習: 1時間】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前に用いた本学のイメージや本学を受験した理由について整理します</li> </ul>
<b>第14週 (対面)</b>	<p><b>検討結果のアウトプット③</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆グループによるプレゼンテーションを行うことができる</li> <li>◆他グループのプレゼンテーションを評価することができる</li> <li>◆他グループの点数を通して、自グループの改善点を提出することができる</li> </ul> <p><b>【事前学習: 3時間】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前週の事後学習で追加や削除、修正を行った項を、グループ全員の提示資料を統合し、確認を行います</li> <li>・前週の事後学習で行ったプレゼンテーション全体の修正や発表をグループ全員で確認し、発表練習を行います</li> </ul> <p><b>【事後学習: 15分】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他グループの発表に関する評価や担当教員の講評を参照しながら、自グループの具体的な改善点についてあらためて考えます</li> </ul>
<b>第15週 (対面)</b>	<p><b>総括・振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆本科目における自身の学びを総括的に振り返り、各学習目標についての自己評価を行うことができる</li> <li>◆本科目における達成状況や学習しなが、後学課程に向けた主体的な課題を設定することができる</li> </ul> <p><b>【事前学習: 2時間】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各TARGETや各授業回における事前学習、ワークシートなどを各自の学習成果資料として、振り返りを行います</li> <li>・「日本大学教育憲章」に記載される各領域や各授業回の実践目標について、自身の達成度を評価できるよう準備を行います</li> </ul> <p><b>【事後学習: 15分】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目全体での学びや学修成果についてあらためて確認します</li> <li>・本科目に定めた(後)学習目標)を達成するための具体的な方法を考えます</li> </ul>

### 成績評価基準

各授業回の自己評価と振り返り)で提出する振り返りシート)、課題の取り組み及び授業への参加状況や成績評価の対象となります。  
 「振り返りシート」では、授業の態度・習得を評価します。

各授業回の配点は以下のとおりです。  
 (スタートアップ) 6点(第1週)  
 (TARGET 1) 2.4点(第2週、第3週、第4週、第5週:各5点)  
 (TARGET 2) 2.4点(第6週、第7週:各6点、第8週-第9週:2時間合計:11.2点)  
 (TARGET 3) 3.6点(第10週、第11週、第12週、第13週、第14週:各6点、プレゼンテーションに対する教員の総合評価:6点)  
 (総括・振り返り) 1.0点(第15週)

### 教科書及び参考図書

教科書: 特におりません  
 参考図書: 「3ライティング・Learning Guide」(その他の参考図書については、授業内で適宜告知します)

### オフィスアワー

授業時に指示します

### 特記事項

項目	対応	項目	対応
アクティビティの実施	有	教員の業務経験	無
オンラインによる授業回	有	オンライン型による受講	有
授業資料の配付方法	Google Classroom	課題等の配付方法	原則として、Google Classroom経由とします

### 科目の基本情報

- ・科目名 ・担当教員
- ・授業区分(講義/実習など)
- ・対象学年(履修できる年次)
- ・履修方法(必修/選択)、単位数

### 科目のキーワード、概要説明

キーワードによって、科目のジャンルや特性を端的に知ることができ、授業がどのように展開され、どういうことを学んだり行ったりするのかなど、科目のあらましが記されている。

### 科目の位置付け

この科目履修を通じて、最終のこのような力に身に付くのが加えられる。また履修の過程においても、どのようなことができるようになるのかといった具体的に身に付く能力やスキルが書かれているので、科目選択の際や、自身の学修の到達目標として活用できる。

- ・一般目標 (GIO)
- ・個別行動目標 (SBOs) ※到達目標
- ・日本大学教育憲章との関係性
- ・ディプロマ・ポリシー (DP) との関係性
- ・カリキュラム・ポリシー (CP) との関係性

### 15週の各回の授業内容

授業のテーマと概要、予習・復習・課題の内容などの説明と、授業進行の時間配分まで、詳しく記載されている。

### 成績・評価について

成績評価方法と、授業回ごとの配点など、詳細に明示されている。

### 教科書・参考書の指定、教員の連絡先

### 特記事項

授業形態や配布資料、課題提出の方法などが記載されている。